

# 平成27年3月期決算説明資料

---

平成27年5月

株式会社セブン銀行



ハイライト	2頁	グループ外ATMの展開	8頁
損益状況【単体・連結】	3頁	口座サービス	9頁
損益状況【単体】	4頁	北米子会社	11頁
収益・利益の推移【単体】	5頁	インドネシア子会社・国内子会社	12頁
ATMの利用件数と単価の推移	6頁	財務の状況【単体】・配当政策	13頁
ATM台数と平均件数の推移	7頁	今後の取組方針	14頁

※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。  
(<http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/>)

## 2014年度決算

### [ 単体 ]

- 経常収益 1,056億、経常利益 382億と4期連続の増収増益
  - ・ ATM設置台数の増加を主因に、受入手数料が計画通りに伸長
  - ・ 海外送金、ローン等その他収益も順調に増加

### [ 連結 ]

- 経常収益 1,140億、経常利益 370億と増収増益
- 配当は中間3.75円、期末4.25円、年間8円で50銭の増配

## 2015年度の見通し

- ATMビジネスの更なる拡大、口座関連ビジネスの成長により増収増益を計画
  - ・ ATM設置台数は純増約1,300台、2016年3月末に22,400台へ
  - ・ 海外送金サービス年間90万件、個人向けローンサービスの期末残高は150億円に
- 北米、インドネシアでのATM事業を着実に進める
- 配当は中間、期末各4円、年間8円を予定

《 セブン銀行単体 》

(単位:億円)

	13年度	14年度	15年度計画	
			通期	上期
経常収益	998	1,056	1,105	551
経常費用	626	673	714	351
経常利益	371	382	390	200
当期純利益	223	244	260	133

注1) 計数は全て表示単位未満切捨て、以下同様

注2) 連結損益の為替レート: 1米ドル

2013年度=97.73円、2014年度=105.79円、2015年度計画=118.00円

《 連結 》

(単位:億円)

	13年度	14年度	15年度計画	
			通期	上期
	1,055	1,140	1,210	599
	698	769	832	406
	357	370	377	193
	212	232	248	127

《 14年度実績の各社連結対象期間 》

セブン銀行	2014年4月1日	~	2015年3月31日
FCTI	2014年1月1日	~	2014年12月31日
ATMi	2014年6月10日	~	2014年12月31日
BBF	2014年7月1日	~	2015年3月31日

# 損益状況【単体】

(単位: 億円)

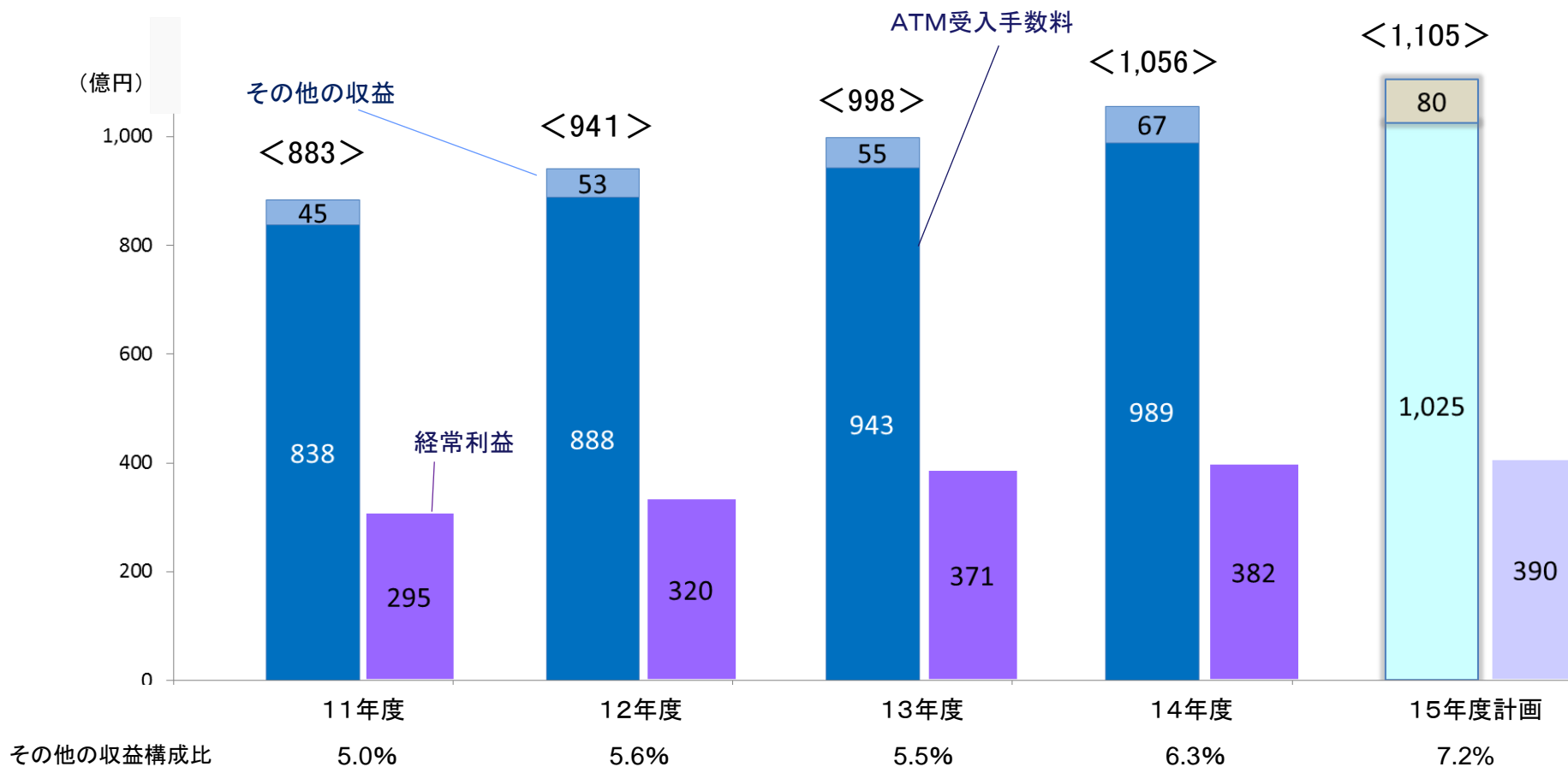
	13年度	14年度			15年度計画			
		計画 (2014年11月)	前年差異	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
<b>経常収益</b>	<b>998</b>	<b>1,058</b>	<b>1,056</b>	<b>58</b>	<b>1,105</b>	49	<b>551</b>	25
うちATM受入手数料	943	991	989	46	1,025	36	514	19
<b>経常費用</b>	<b>626</b>	<b>677</b>	<b>673</b>	<b>47</b>	<b>714</b>	41	<b>351</b>	27
うち資金調達費用	18	12	12	△6	12	0	6	0
うちATM設置支払手数料	113	117	119	6	125	6	62	3
うち業務委託費	163	169	168	5	173	5	87	4
うち保守管理費	37	37	37	0	40	3	18	0
うち土地建物機械賃借料	6	8	9	3	9	0	4	0
うち減価償却費	116	153	150	34	175	25	86	15
<b>経常利益</b>	<b>371</b>	<b>380</b>	<b>382</b>	<b>11</b>	<b>390</b>	8	<b>200</b>	△2
特別損益	△10	△1	△1	9	△1	0	0	1
法人税等合計	138	135	136	△2	128	△8	66	△5
<b>当期純利益</b>	<b>223</b>	<b>243</b>	<b>244</b>	<b>21</b>	<b>260</b>	16	<b>133</b>	4
<b>EBITDA</b>	<b>488</b>	<b>534</b>	<b>533</b>	<b>45</b>	<b>566</b>	33	<b>286</b>	12
期末ATM設置台数(台)	19,514	21,000	<b>21,056</b>	1,542	<b>22,400</b>	1,344	<b>21,700</b>	1,393
ATM受入手数料単価(円)	131.2	135.8	<b>136.2</b>	5.0	<b>133.6</b>	△2.5	<b>133.8</b>	△2.3
平均利用件数(件/台/日)	107.8	101.2	<b>100.9</b>	△6.9	<b>99.0</b>	△1.9	<b>100.7</b>	△1.8
総利用件数(百万件)	736	746	<b>743</b>	7	<b>785</b>	42	<b>393</b>	21

注1) 前年差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

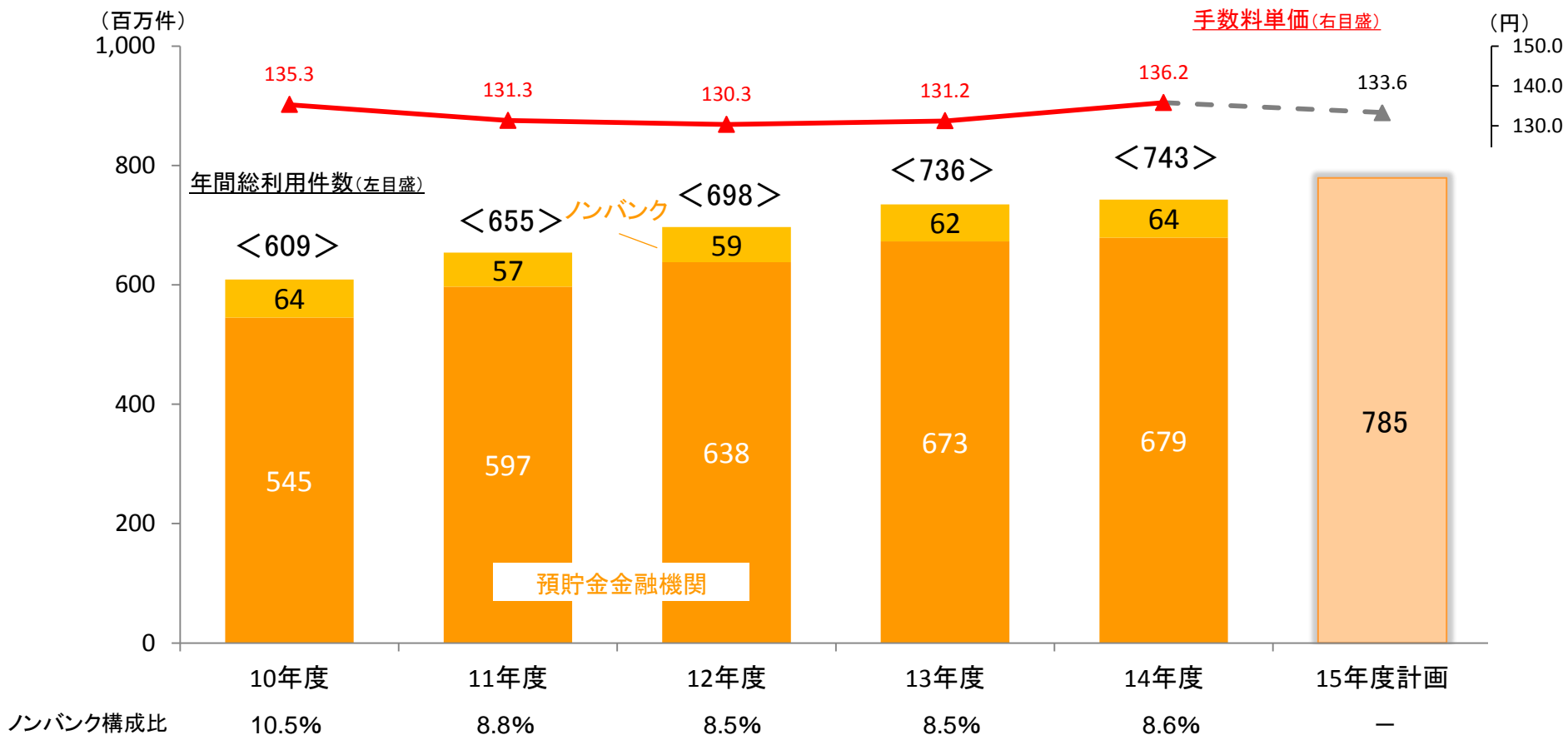
注2) EBITDA=経常利益+減価償却費

**その他の収益** ATM代替・海外送金サービス・個人ローン等の収益

**ATM受入手数料** ATMの利用件数に応じた銀行等からの手数料

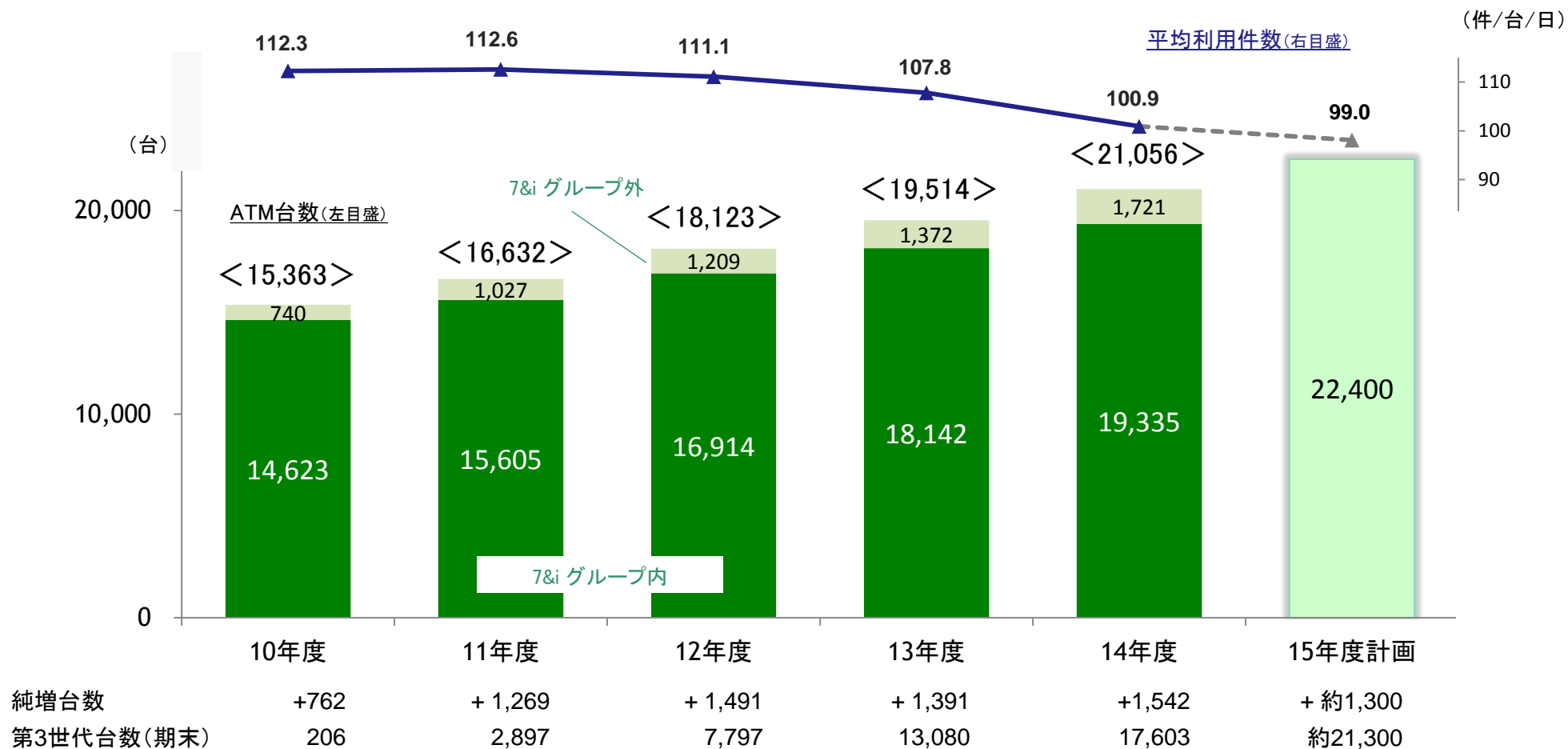


・個人向けローンサービスは2010年1月、海外送金サービスは2011年3月より開始



注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず  
 注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出  
 注3) 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社等の合計

- ATM台数はグループ内外ともに順調に増加
- 15年度も純増約1,300台を計画



注) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず



- 訪日外国人の海外カード利用が急増
- インバウンド対応(海外発行カードが利用可能)のメリットを活かし、交通・流通等に積極展開

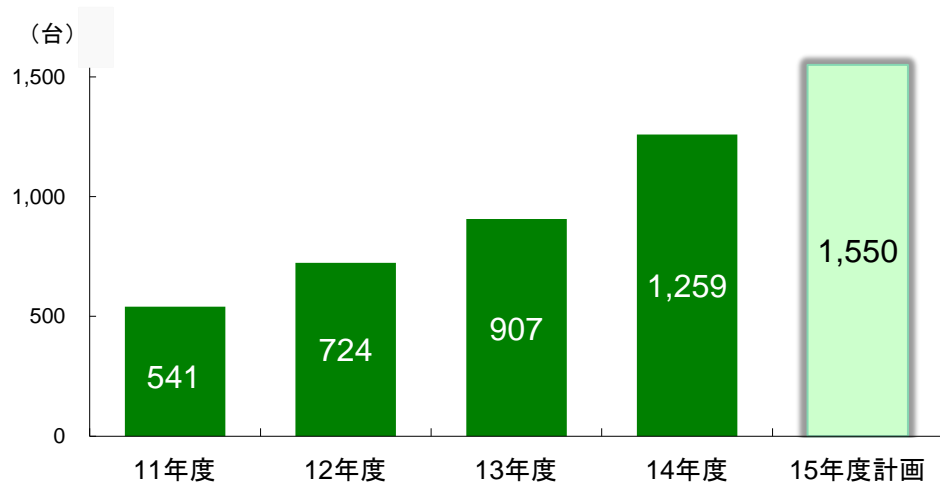


## グループ外設置(除く証券会社)の拡大

《期末設置台数》

(単位:台)

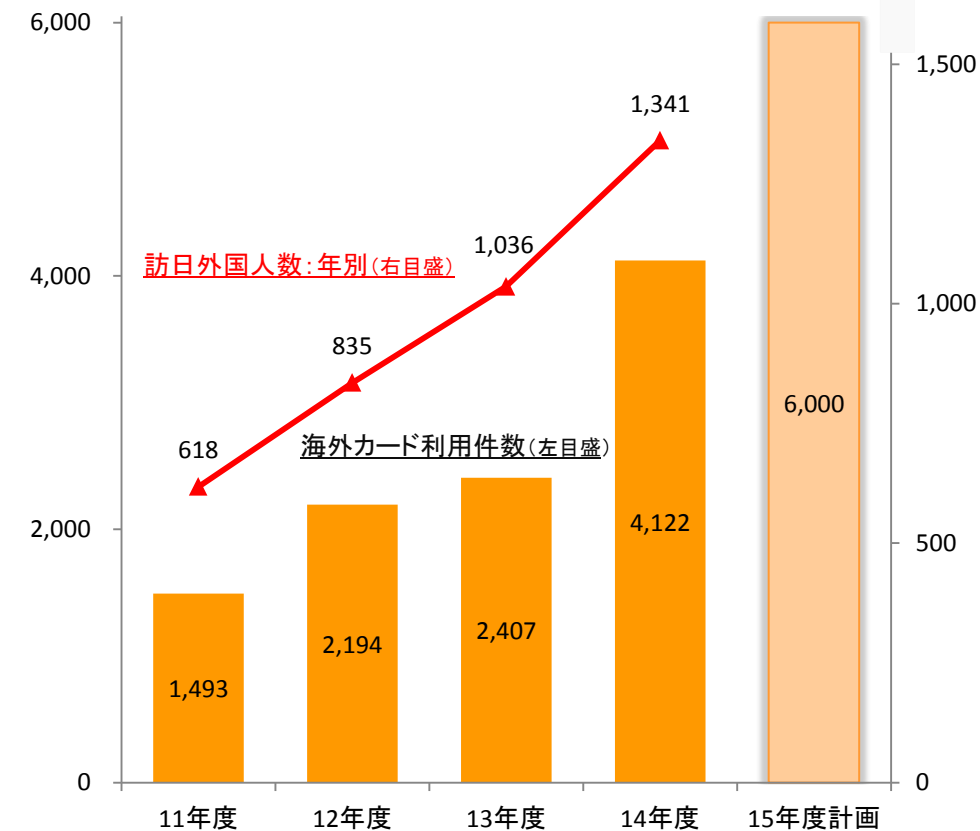
	11年度	12年度	13年度	14年度
空港	33	36	36	39
駅・交通系	84	98	138	207
商業施設	298	417	539	724
その他	126	173	194	289
合計	541	724	907	1,259



## 海外カード利用件数・訪日外国人数

(千件)

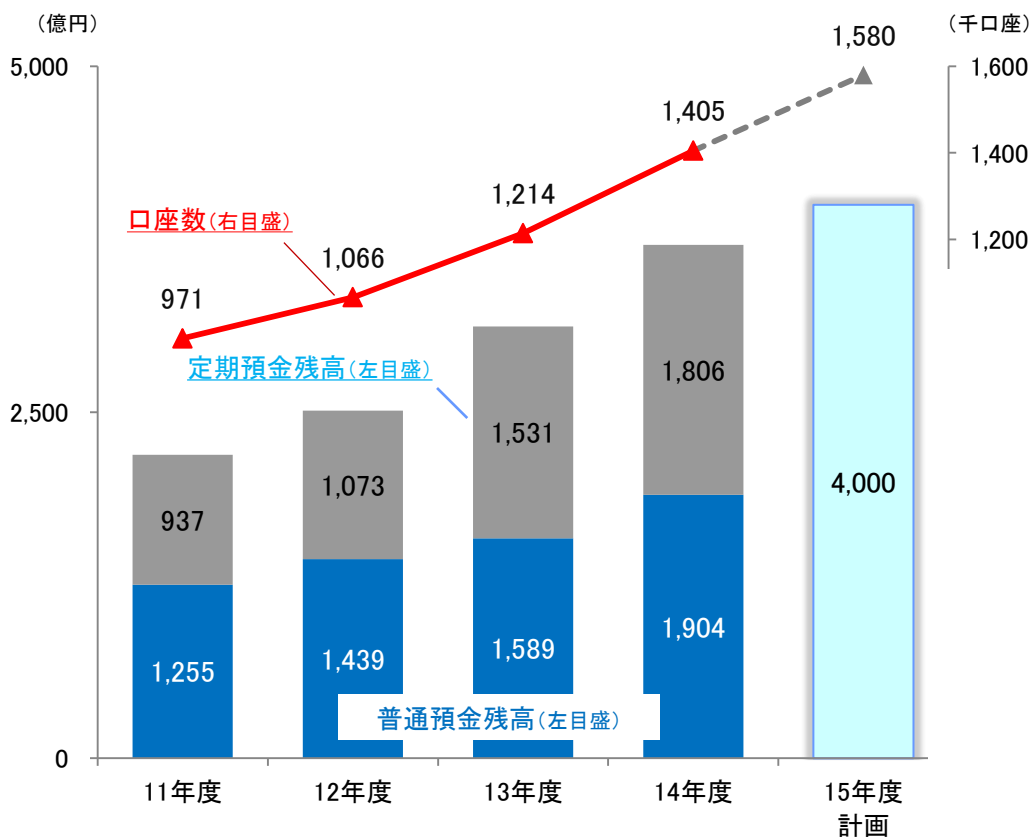
(万人)



※出典:JNTO 年別訪日外客数

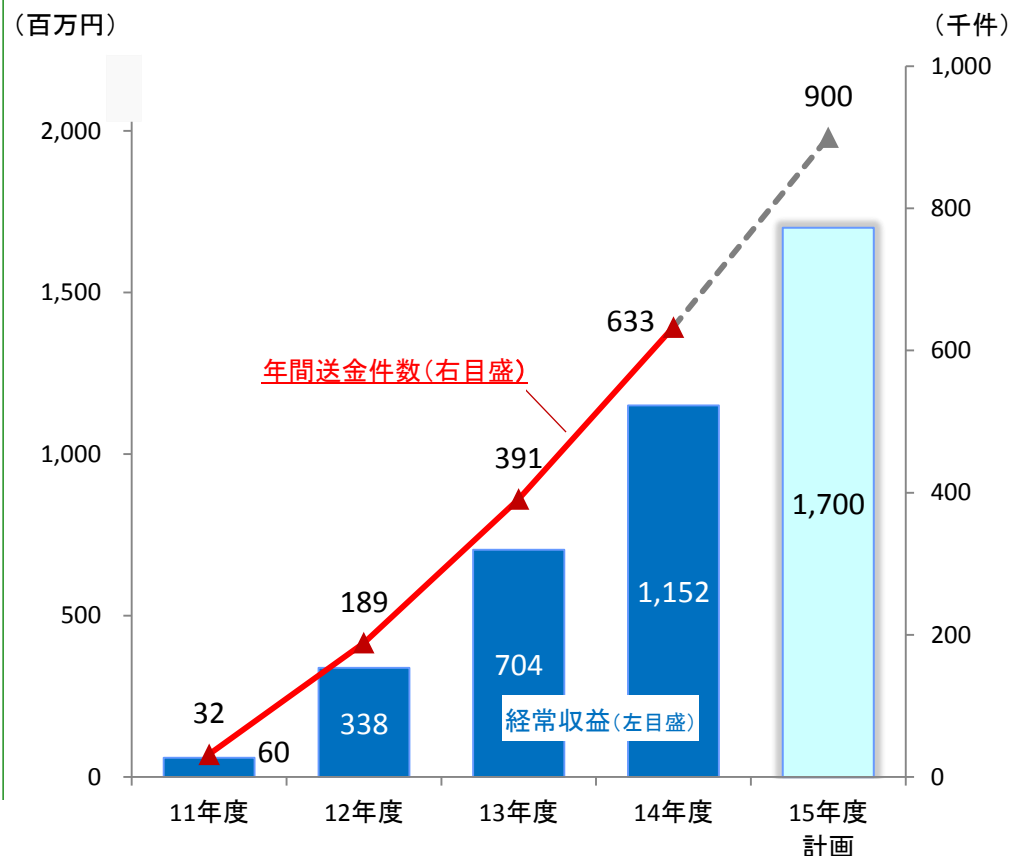
個人の口座数と預金残高

- ・口座サービスの充実に伴い口座数、残高ともに伸長
- ・預金はATM事業の主要な資金調達手段



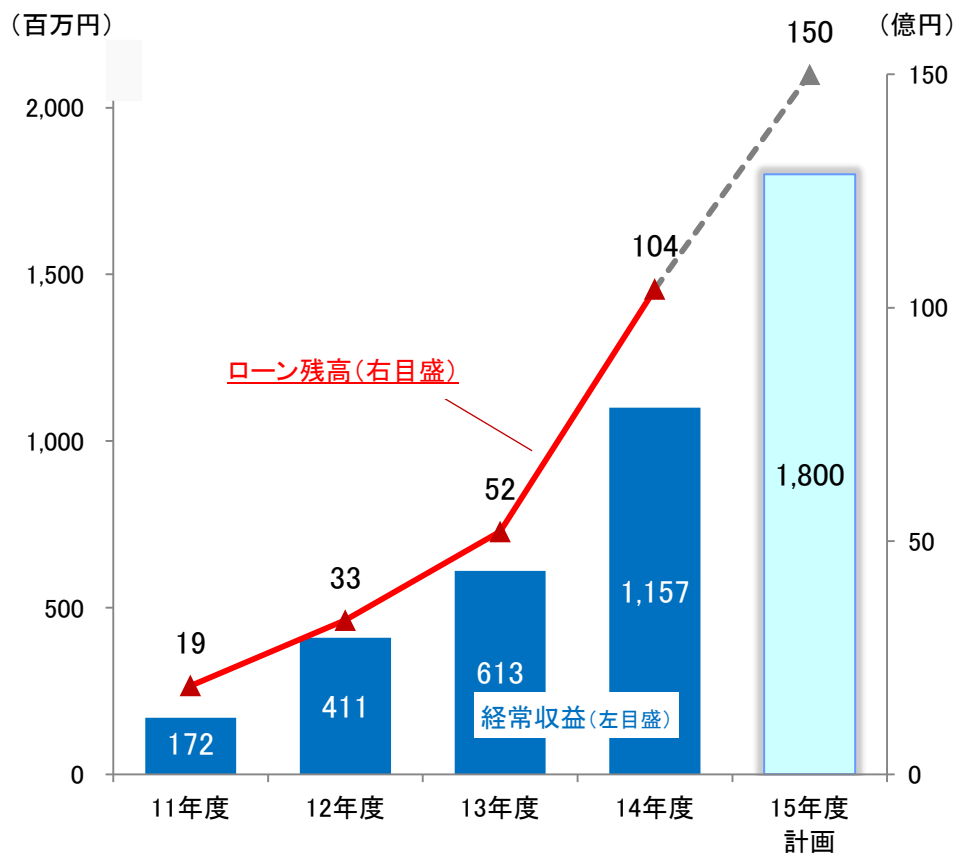
海外送金サービス

- ・有人拠点(7拠点)・多言語コールセンター等での営業力の強化
- ・アプリ等を使ったネットサービス・言語対応の充実



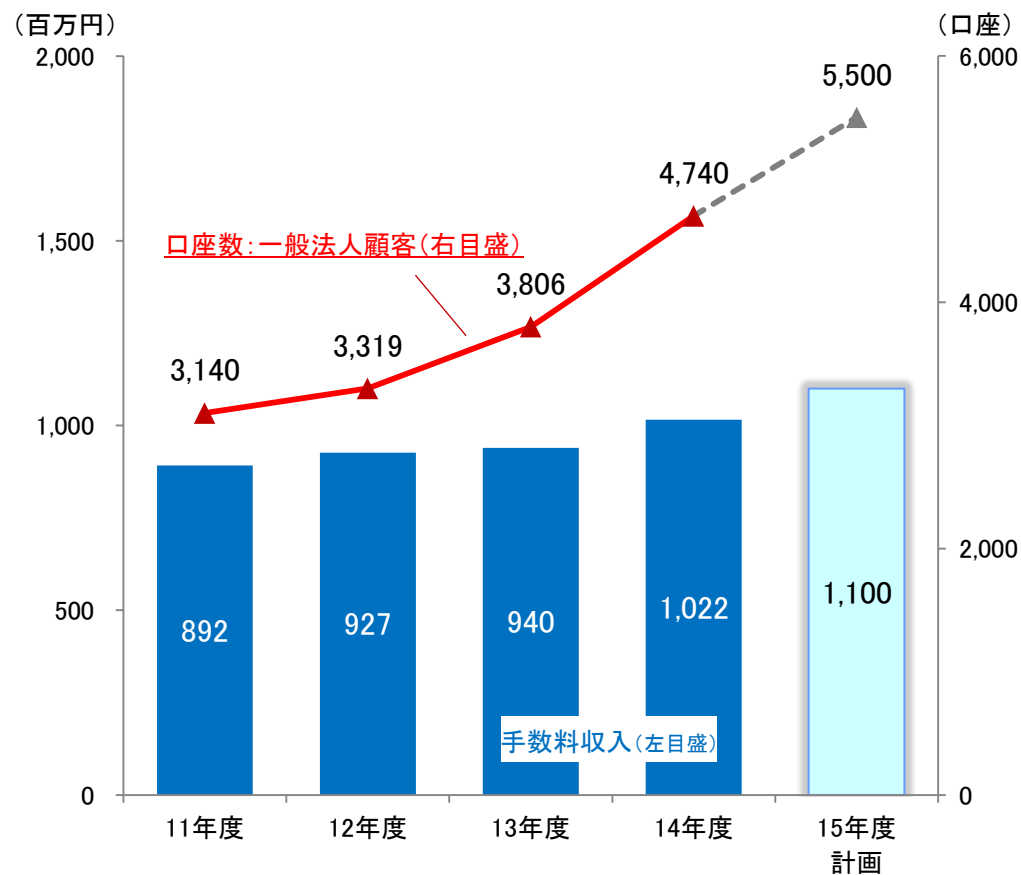
個人向けローンサービス

- ・極度額(50万)、金利(15%)など商品性は維持
- ・効率的な広告努力で、着実な残高増を目指す



売上金入金サービス

- ・法人顧客: 利便性  
夜間金庫代わり、資金管理コスト低減
- ・当社: 収益+ATM運営効率化  
手数料収入、資金調達手段に加え現金装填コストを低減



北米子会社

- ・FCTI単体では、15年度経常収益89.0百万米ドル、経常利益2.1百万米ドルと利益確保を計画
- ・今後は運営効率改善によるコスト削減及びATM設置台数増加により利益拡大を目指す

FCTI単体

(単位:百万米ドル)

	13年度	14年度	15年度計画	
			通期	上期
経常収益	58.9	79.6	89.0	40.7
経常費用	58.6	77.8	86.9	39.9
経常利益	0.3	1.7	2.1	0.7
当期純利益	1.0	1.0	1.3	0.4
EBITDA	6.4	8.0	10.0	4.1

注1) EBITDA=経常利益+減価償却費

注2) 為替レート:1米ドル

2013年度=97.73円、2014年度=105.79円、2015年度計画=118.00円

主要計数

	13年度	14年度	15年度計画
期末ATM設置台数(台)	7,176	6,329	8,200
うち自社保有(台)	5,126	4,846	6,500
総利用件数(百万件)	24.6	38.0	45.0

注) 自社保有以外のATMは、主にATM設置場所の所有者が保有している

FCTIの拠点分布状況



インドネシア子会社



PT. Abadi Tambah Mulia Internasional

■社名 PT.ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL  
(ATMi:アバディ タンバ ムリア インターナショナル)

- ・15年度はホテル、オフィスビル等を中心にATMを設置
- ・中小金融機関等からの受託も目指す

(単位:百万円)

ATMi単体	14年度	15年度計画	
		通期	上期
経常収益	2	18	2
経常費用	10	100	28
経常利益	△7	△82	△25
当期純利益	△7	△82	△25

注1) 為替レート:100インドネシアルピア  
2014年度=0.904円、2015年度計画=0.9円

注2) ATMiは2014年6月10日設立のため、14年度通期連結決算には、ATMiの連結対象期間  
(2014年6月10日~2014年12月31日)のみ連結

国内子会社



セブン銀行の100%子会社  
バンク・ビジネスファクトリー

■社名 株式会社バンク・ビジネスファクトリー  
(BBF:Bank Business Factory)

- ・14年度より外部事務受託を開始(14年度末実績:2社)
- ・事業拡大のため長崎県に新センターを開設予定

(単位:百万円)

BBF単体	14年度	15年度計画	
		通期	上期
経常収益	426	700	340
経常費用	399	663	322
経常利益	26	37	18
当期純利益	5	25	12

注) BBFは2014年7月1日設立のため、14年度通期連結決算には、BBFの連結対象期間  
(2014年7月1日~2015年3月31日)のみ連結

貸借対照表(2015年3月末)

(単位:億円)

現金預け金 5,996 (ATM装填用)	預金 5,015 (個人預金 3,710)
有価証券 840	社債・借入金 1,260
ATM仮払金 816	ATM仮受金 378
	その他 182
その他 851	純資産 1,668
資産 8,503	負債+純資産 8,503

2015年3月末時点

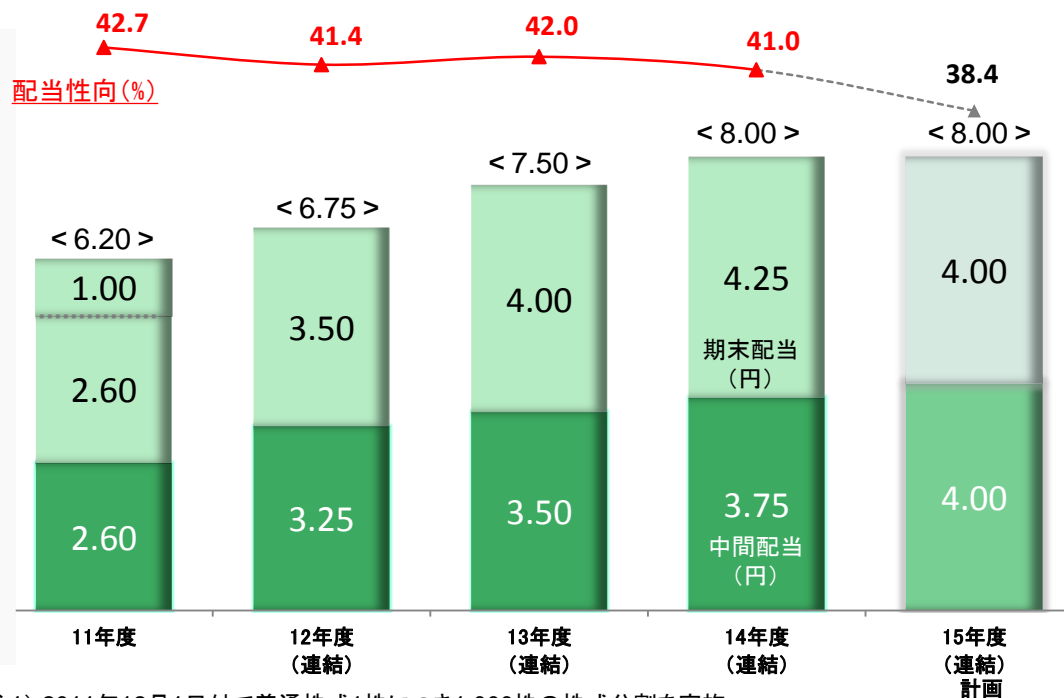
単体自己資本比率(国内基準)	54.01%(速報値)
格付	S&P AA- R&I AA
ROE(連結)	14.4%

方針

連結配当性向は年間35%を最低目標に、年2回の配当を実施

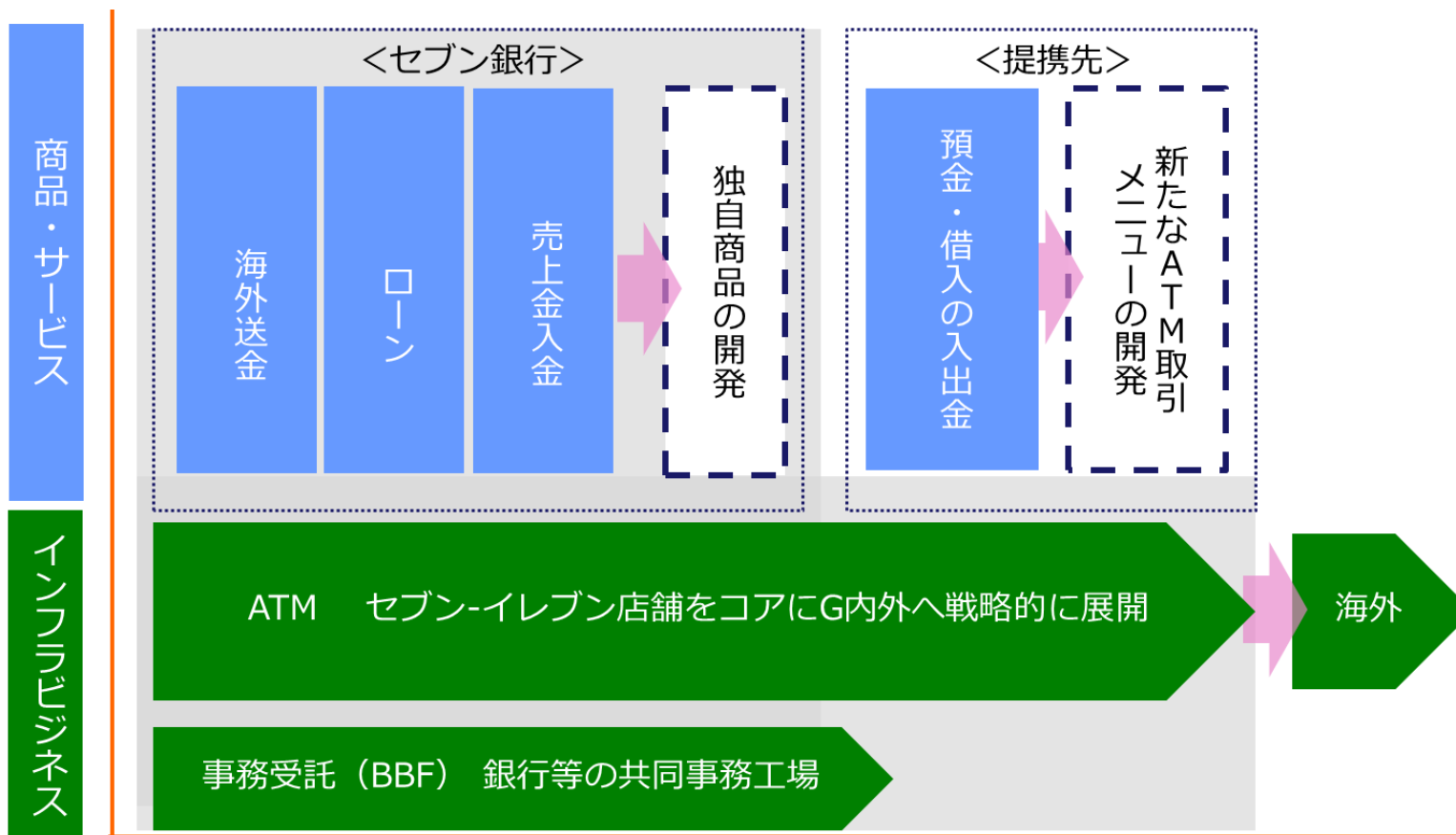
配当実績・予想

14年度 : 期末を0.5円引き上げ4.25円、中間と合わせ年間8円  
15年度 : 年間8円を予定



注1) 2011年12月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施  
注2) 2011年度は期末配当に1.00円の東証上場記念配を上乗せ  
注3) 2012年度以降は連結決算

- ATMネットワークの戦略的展開
- インフラを活用したリテールサービスの拡充



本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。